

2. 環境保全団体等の活動紹介

八王子市内では、環境市民会議をはじめ、多くの団体等が地域で環境保全活動を展開しています。こうした地域に根ざした様々な活動が力となり、望ましい環境像の実現に向かっていきます。

■ 特定非営利活動法人緑サポート八王子

1. 概要

市内の里山保全団体と個人が集い平成19年8月に設立された特定非営利活動法人です。行政や企業、学校等と協働し里山の保全活動を進めることを主な事業として活動しています。

雑木林の下草刈・間伐等による里山保全事業、里山を再生・保全する為の植生調査や研究事業、自然観察会等による環境学習事業、自然環境保護に関する普及・啓蒙事業、また市民に身近な自然環境・景観の維持保全を図ること等により、生活環境と自然環境が調和し、自然と人間が共生できる豊かな社会の実現に寄与することを目指して活動しています。

2. 25年度の主な活動実績

(1) 里山保全体験事業

東京都緑地保全地域において、東京都および企業等と連携した自然環境保全活動を実施し、これらの地域を企業の社会貢献活動の場として活用する「東京グリーンシップ・アクション」を企画し、実践しました。八王子大谷、戸吹北、館町の緑地保全地域において、年間8回実施しました。



殿入中央公園の田んぼ復活活動

(2) 自然環境体験学習事業

市立小学校の学校林等での野外学習として、自然観察や保全活動体験を通じた体験学習の企画立案および指導を年間9回行いました。

(3) 緑地保全支援事業

市と緑地所有者との協働で斜面緑地の手入れを行う「グリーンマッチング八王子」事業を継続して行いました。また、殿入中央公園では、田んぼ復活活動を支援しました。

■ 宇津貫みどりの会

1. 概要

八王子みなみ野シティの開発によって失われようとしていた里地・里山の貴重な植物を残そうと、平成3年から活動を開始しました。宇津貫緑地を活動拠点として、里山の保全と文化の継承の活動を続けています。平成20年4月には「宇津貫緑地里山保全協議会」をみなみ野自然塾と共に立ち上げ、八王子市とアドプト契約を締結しました。約50名の会員が定期的に活動するほか、賛助会員企業の里山保全体験を年2回実施しています。

2. 25年度の主な活動実績

(1) 宇津貫緑地での保全活動

雑木林、水田、池で構成される総面積約16ヘクタールの宇津貫緑地で、下草刈りや間伐などの雑木林の手入れなどを月3回程度実施。他に稲作、生物調査、環境学習の推進などの活動を実施しています。

(2) 里山文化の継承活動

会員が地元の方々に伺った話をもとに、かつての谷戸の暮らしなどをまとめた『谷戸の暮らし』を、平成19年に出版しました。自然との関わりの中での里人の工夫や知恵、歳時記等を紹介することで、里山文化の継承と地元との親睦を図る活動も行っています。

(3) 植物の保全・管理・観察活動

数年間にわたる植物調査の結果を『宇津貫緑地の植物』として平成23年に出版しました。植物目録を作成することは、自然の生態系に沿った管理体制を考える上での基礎となるもので、今後の保全活動をする上での欠かせない指標となっています。



希少植物の囲い設置

(4) 八王子環境フェスティバルに参加

八王子環境フェスティバルでは会の活動の紹介、木工工作を体験してもらいました。

■美しい八王子をつくる会

1. 概要

美しい八王子をつくる会は、市民の連帯と共感のなかから恵まれた自然を守り、郷土を愛する心をはぐくむとともに地域住民のふれ合いの場を作り、合わせてコミュニティ活動の活性化を目的とする市民団体です。

2. 25年度の主な活動実績

(1) みんなの町の清掃デー（6月2日）

各町会・自治会および各種団体の協力を得て、町に捨てられている可燃ごみ、不燃ごみ、空き缶を回収するとともに、地域の美化を推進しました。（参加団体数：220団体、回収量：12,350kg）



みんなの川の清掃デー

(2) みんなの川の清掃デー（9月1日）

各町会・自治会および各種団体の協力を得て、市内主要河川の堤防およびその周辺の清掃を行いました。（参加団体数：186団体、回収量：18,370kg）

■成光運輸株式会社（水辺の水護り制度）

1. 概要

水辺の水護り制度は、平成23年5月に始まりました。

昭和40年の創業以来、私たちはこの台町で事業を営んでまいりました。

水路清掃活動を始めたきっかけは、社会貢献活動として地域に対し何ができるのか、また社員への環境教育はどのようにすればよいか、更にはこれからの子ども達に何か伝えるべきことはないかという様々な思いからでした。

活動当初は、週に一回の清掃を実施していましたが、今では定期的な活動日時は決めず、社員の自主性で清掃活動を行っています。

季節によって、川にはいろいろな生き物が生息しているということを、今の子ども達は知っているのでしょうか。私たち大人の世代が、実際子ども達に水辺で親しむ体験をさせないと、生息している生き物がわからないのかもしれないかもしれませんね。そのためにも、川などの水辺はきれいであってほしいです。私たちの清掃活動には、そんな願いが込められています。

水は限りある資源であり、小川を汚すことは私たちが日常使う水をも汚しているのです。このことを地域の取り組みや水護り制度などによって知ってもらう必要があるのではないのでしょうか。

現在、私たちが清掃活動している水路は水の流れがありません。しかし、昔は素掘り（土のまま、構造物のないもの）で常に水が流れていて、大雨の時には溢れることもありました。八王子市の一部の川では、この時期水がない場所もありますが、川に水が流れていないということはさみしいものです。「川は川らしく。山は山らしく。」そういう本来の自然になる事を望んでいます。

2. 25年度の主な活動

約10人で毎月4回以上の会社に隣接する水路周辺の清掃

